

「ITBOX」eラーニングサービスの利用規約

第1章 総則

第1条(適用範囲)

株式会社エスシーシー(第2条に基づき以下「当社」といいます。)は、本利用規約(以下「利用規約」といいます。)に基づき第2条で定義する本サービスを提供します。

2. 利用規約は、第2条で定義する契約者が本サービスに申し込んだ時点で、当社と契約者の間に適用されます。
3. 以下に定める当社の行為、権利、義務の行使については、当社が指定する代理人(販売代理店)にその一部を代行・代理させることがあります。

第2条(定義)

利用規約において使用する用語は、それぞれ次の意味で使用します。

- (1)本サービス 当社が利用者に提供する「ITBOX」eラーニングサービスをいいます
- (2)当社 本サービスを提供する株式会社エスシーシーをいいます
- (3)利用申込者 当社に対し、本サービスの利用を申し込む者をいいます
- (4)担当者 本サービス利用に必要な業務遂行および当社と利用者の連絡や通知等についての担当者をいいます
- (5)利用者 当社の承認により発行されるID・パスワードを用いて本サービスを利用する者をいいます
- (6)契約者 利用申込みに対して当社が承認をした者をいい、担当者および利用者を総称します
- (7)利用申込 当社所定の申込書を提出することにより行われます
- (8)ID 利用者とその他の者を区別するために用いられる符号をいいます
- (9)パスワード IDと組み合わせて、利用者とその他の者を識別するために用いられる符号をいいます

第3条(追加規約の通知)

当社は、当社が提供するインターネット上のWebサイトまたは当社が適当と判断する方法により、契約者に対し随時利用規約に関わる必要な事項(以下「追加規約」といいます。)を告示または照会できる状態におきます。

2. 追加規約は、当社が前項の規定に従い契約者に通知した時点から効力を発するものとします。
3. 追加規約はこの規約の一部を構成します。

第4条(利用規約の変更)

当社は、契約者の了解を得ることなく利用規約を変更することがあります。この場合、本サービスの利用条件は、変更後の規約によります。

2. 変更後の規約は、前条第1項の規定により契約者へ通知するものとし、契約者から別段の異議申立がない限り通知日をもって契約者が同通知の内容に同意したものとします。
3. 変更後の規約は利用規約の一部を構成します。なお、利用規約と変更後の規約が異なる場合には、変更後の規約が優先するものとします。

第2章 利用の合意

第5条(利用の承認と不承認)

当社は、別途定める方法にて利用申込みを受け付け、必要な審査手続き等を経た後に利用を承認します。

2. 当社は、利用申込者が以下のいずれかに該当する場合、その者の利用を承認しないことがあります。
 - (1) 利用申込者が実在しない場合
 - (2) 利用申込者が既に利用者になっている場合
 - (3) 利用申込者が過去に利用規約に違反した場合
 - (4) 利用申込みの際の申告事項に、虚偽の記載、誤記入または記入漏れがあった場合
 - (5) その他利用申込者を当社が不相当と認めた場合

第6条(利用料)

契約者は、前条の規定により当社が利用を承認した場合、本サービスの利用料について当社が発行する請求書により、原則として本サービスの利用開始前に当社に支払うものとします。

2. 利用料および支払方法は、別途当社が定めるとおりとします。なお、当社は、契約者の承諾を得ることなく利用料、料金体系および支払方法等を随時変更することがあります。
3. 契約者が、請求書記載の支払期日を経過後も利用料を支払わない場合、契約者は支払期日の翌日から支払日の前日までの日数に年 14.5%の割合で計算される金額を延滞利息として当社に支払うものとします。
4. 本条に規定する利用料および延滞利息の支払いに必要な手数料その他の費用は全て契約者の負担とします。

第7条(サービスの利用中止・変更)

契約者は、本サービスの利用開始日以降、原則として利用料を支払い済みの本サービスの利用中止はできないものとし、当社は利用が開始された本サービスの利用料の返金には一切応じないものとします。

第3章 IDおよびパスワード

第8条 (IDおよびパスワードの発行)

当社は、第6条に定める利用料の支払いの確認後に、利用申込者に対してIDおよびパスワードを発行し、遅滞なく通知するものとします。

2. IDおよびパスワードの発行日をもって、当社と利用申込者間の本サービスに係る契約は有効に成立したものとします。

第9条 (IDおよびパスワードの抹消)

当社は、利用申込の承認後であっても契約者が利用規約の規定に違反した場合、当該契約者に対する通知をもって利用申込みの承諾を取り消し、発行済みのIDおよびパスワードを抹消することができます。

2. 前項の規定により当社によりIDおよびパスワードが抹消された場合、契約者は一切の異議申立を行わないものとします。

第10条 (IDおよびパスワードの管理)

契約者は、自己のIDおよびパスワードの使用および管理について一切の責任を負うものとします。

2. 当社は、契約者のIDおよびパスワードが第三者に使用されたことにより当該契約者が被る損害について、当該契約者の故意過失の有無にかかわらず一切の責任を負いません。
3. 契約者は、自己のIDおよびパスワードを紛失または盗まれたり、第三者により使用されていることを知った場合には、直ちにその旨を当社に申し出るものとし、以後の処置について当社の指示に従うものとします。

第4章 契約者の義務

第11条 (自己責任の原則)

契約者は、自己のIDおよびパスワードにより本サービスを利用してなされた一切の行為およびその結果について当該行為を自己がしたか否かを問わず責任を負うものとします。

2. 契約者は、本サービスの利用に伴い第三者からの問合せ、クレーム等が通知された場合は自己の責任と費用を持って処理解決するものとします。
3. 契約者は、第三者の行為に対する要望、疑問もしくはクレームがある場合は、当該第三者に対し直接その旨を通知するものとし、その結果については自己の責任と費用を持って処理解決するものとします。
4. 契約者は、本サービスの利用により当社または第三者に対して損害を与えた場合、自己の責任と費用をもって損害を賠償するものとします。

第 12 条(禁止事項)

契約者は、本サービスを利用するにあたり以下の行為を行わないものとします。

- (1) IDおよびパスワードを不正に使用する行為
 - (2) 本サービスを通じて、または本サービスに関連してコンピュータウィルス等の有害なプログラムを使用若しくは提供すること
 - (3) 本サービスの内容や本サービスにより利用し得る情報を改ざんまたは消去する行為
 - (4) 本サービスのコンテンツの全部または一部の修正およびコンテンツを基にした派生的制作物を作成する行為
 - (5) 当社の商標権等の工業所有権を侵害する行為、または侵害する恐れのある行為
 - (6) 本サービスを通じて入手したデータ、情報、文章、ソフトウェア等に関し、著作権法で認められた私的利用の範囲を超え複製、販売、出版等を行う行為
 - (7) 第三者の財産、プライバシーもしくは肖像権を侵害する行為、または侵害する恐れのある行為
 - (8) 第三者を差別もしくは誹謗中傷または第三者の名誉もしくは信用を毀損する行為
 - (9) 犯罪的行為または犯罪的行為に結びつく行為、もしくはそのおそれのある行為
 - (10) 性風俗、宗教、政治に関する活動
 - (11) 第三者の設備等または本サービス用設備等の利用または運営に支障を与える行為、またはそのおそれのある行為
 - (12) 上記各号の他、法令、利用規約もしくは公序良俗に違反(わいせつ、暴力、残虐等)にあたる行為、当社の信用を毀損、もしくは財産を侵害する行為、または当社に不利益を与える行為
 - (13) その行為が前各号のいずれかに該当することを知りつつ、その行為を助長する態様・目的でリンクをはる行為
 - (14) その他、当社が不適切と認める行為
2. 契約者が前項の各号に該当する行為を為したと認められた場合、当社は事前に通知することなく直ちに当該契約者の利用資格、発行済みのIDおよびパスワードの利用を中断および将来に向かって取り消すことができるものとします。
3. 当社は、前項の措置を取ったことにより当該契約者が本サービスを利用できず、これにより損害が発生したとしてもいかなる責任も負わないものとします。

第 13 条(反社会的勢力の排除)

契約者は、自己が以下の各号の一に該当しないこと、及び今後もこれに該当する行為を行わないことを表明・保証し、契約者が以下各号の一に該当したとき、または該当していたことが判明したときは、当社は第 12 条 2 項および 3 項の定めを準用するものとします。

- (1) 契約者または契約者の代表者、責任者もしくは実質的に経営権を有する者が、暴力団、暴力団構成員、暴力団関係企業もしくは関係者、総会屋、その他反社会的勢力(以下総称して「反社会的勢力」という。)であること、または反社会的勢力であったこ

とが認められるとき。

- (2) 契約者または契約者の代表者、責任者もしくは実質的に経営権を有する者が、反社会的勢力への資金提供を行う等、その活動を助長する行為を行ったとき。
- (3) 契約者または契約者の代表者、責任者もしくは実質的に経営権を有する者が、自らあるいは第三者を利用して当社に対し、暴力的または威迫的な行為、もしくは不当に名誉・信用を毀損する行為を行ったとき。

第5章 提供サービスと中断、停止

第14条(提供サービス)

当社は、契約者に対しインターネットを通じて本サービスを提供します。

第15条(サービスの一時的な中断)

当社は、以下のいずれかの事由が生じた場合には、契約者に事前に通知することなく一時的に本サービスを中断することがあります。

- (1) 本サービス用設備等の保守を定期的または緊急に行う場合
- (2) 火災、停電等により本サービスの提供ができなくなった場合
- (3) 地震、噴火、洪水、津波等の天災により本サービスの提供ができなくなった場合
- (4) 戦争、動乱、暴動、騒乱、労働争議等により本サービスの提供ができなくなった場合
- (5) その他、運用上または技術上当社が本サービスの一時的な中断が必要と判断した場合

第16条(サービス提供の中止)

当社は、事前通知をした上で本サービスの全部または一部の提供を中止することがあります。ただし、事前通知について緊急やむを得ない場合はこの限りではありません。

2. 当社は、前条またはその他の事由により本サービスの提供の遅延または中断等が発生したとしても、これに起因する契約者または第三者が被った損害について一切責任を負わないものとします。

第6章 秘密情報等の保護

第17条(秘密情報の保護)

利用申込者および契約者、また当社は、相手方の書面による承諾なくして、本契約に関連して相手方から開示された相手方固有の技術上、販売上その他業務上の秘密を、ID およびパスワードの利用期間中はもとより利用期限の経過後も第三者に対しては開示、漏洩しないものとします。

2. 前項にかかわらず、利用申込者および契約者、また当社は、裁判所の決定、行政機関等の命令・指示等により秘密情報の開示を要求された場合または法令等に定める場合は、必要

な範囲内と認められる部分のみを開示することが出来るものとします。

3.第1項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する情報は秘密情報から除外するものとします。

- (1) 開示の時点で既に公知のもの、または開示後情報を受領した当事者の責によらずして公知となったもの
- (2) 開示を行った時点で既に相手方が保有しているもの
- (3) 第三者から秘密保持義務を負うことなく正当に入手したもの
- (4) 相手方からの開示以降に開発されたもので、相手方からの情報によらないもの

第 18 条(個人情報の保護)

利用規約において個人情報とは、利用申込者および契約者が本サービスの利用申込時、および問合せを行う際に当社に届け出た氏名、メールアドレス、住所等の情報をいいます。

第 19 条(個人情報の利用目的)

当社は、個人情報につき、本サービスの円滑な提供、利用申込者または契約者の管理、利用料金の請求ならびにサービスの向上を目的とした調査、検討、企画等の目的のためのみ利用するものとし、その他の目的には一切使用しないものとします。

第 20 条(個人情報の取扱い)

当社は、本サービスによる個人情報を、当社の「プライバシーポリシー」 および、「個人情報の取扱いについて」に準じて管理するものとします。

2. 当社は、当社の責任において、個人情報を、不正な使用、アクセス、開示、改変又は破棄から合理的な方法で保護するものとし、セキュリティ保護のために、アクセス管理、その他の方法を適宜使用するものとします。
3. 当社は、当社の責任において、事故の拡大防止や収拾のために必要な合理的措置を講じるものとします。なお、当社の責に帰すべき事由による不履行に起因して、個人情報に関する事故が生じた場合、当社はその責任を負うものとします。ただし、当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害および逸失利益については、当社は責任を負わないものとします。

第 21 条(第三者への開示)

当社は、事前に利用申込者および契約者から同意を得た場合もしくは法令の規定に基づき開示を求められた場合を除き、個人情報を第三者に開示、漏洩しないものとします。

2. 前項にかかわらず、当社は、本サービスの提供の一環として、Q&A 対応、システム運用等の作業の一部を第三者(以下「委託先」という)に委託する場合は、本章に定めるのと同等の義務を当該委託先に課したうえで、当該委託先に対し個人情報を開示できるものとします。

第7章 その他

第 22 条(知的財産権)

当社が本サービスで契約者に提供する一切の著作物に関する著作権(著作権法第 27 条および第 28 条の権利を含みます)および著作者人格権ならびにそれらに含まれるノウハウ等の知的財産権は、当社またはその供給者に帰属します。

2. 契約者は、前項に定める著作物等を以下のとおり取扱うものとします。

- (1) 利用規約にしたがって本サービスを利用するためにのみ使用すること
- (2) 複製、改変、頒布等を行わず、またリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アSEMBルを行わないこと
- (3) 営利目的の有無にかかわらず、第三者に貸与、譲渡、担保設定等しないこと
- (4) 当社またはその供給者が表示した著作権・商標権等を削除または変更しないこと

第 23 条(損害賠償)

契約者は、利用規約および法令の定め違反したことにより当社を含む第三者に損害を及ぼした場合、当該損害を賠償する責任を負うものとし、当社を含む第三者を免責しなければならないものとします。

第 24 条(免責)

当社は、本サービスの利用により発生した契約者の損害(第三者との間で生じたトラブルに起因する損害を含みます。)、または第三者の損害に対しいかなる責任も負わないものとし損害賠償義務を一切負わないものとします。

2. 当社は、本サービスへのアクセス制限、本サービスの中止・中断などの発生により、本サービスを利用できなかったことにより発生した契約者または第三者が被ったいかなる損害について理由を問わずいかなる責任も負わないものとし、損害賠償義務を一切負わないものとします。

第 25 条(協議)

本サービスおよび利用規約に関して契約者と当社の間で疑義が生じた場合、両者誠意をもって協議のうえ解決するものとします。

第 26 条(合意管轄)

契約者と当社の間で訴訟の必要が生じた場合、東京地方裁判所を契約者と当社の第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第 27 条(準拠法)

利用規約に関する準拠法は、日本法とします。

附則

この規約は 2009 年 7 月 1 日から実施します。

2013 年 1 月 1 日第 13 条として「反社会的勢力の排除」を追加して改訂しました。